

2013年度
関西学院大学ロースクール
C日程

一般入試（法学既修者）

民事訴訟法 問題

《9:30～11:30》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【民事訴訟法 問題】

次の文章を読んで、以下の設問1から設問3に答えなさい。(なお、解答に当たっては、結論だけでなく、結論に至った理由〔なぜそのように考えるのか〕も合わせて書くこと)

Xは、先祖代々受け継いで所有していた甲土地を、平成24年3月3日に、是非欲しいと言ってきたYに、代金3000万円、支払日は同年4月3日との約束で売却し、その日に甲土地を引き渡した。ところが、Yは、いろいろと文句を言ってその代金を支払わないので、代金3000万円の支払いを求め、訴えを提起した(以下、「第1訴訟」という)。

これに対し、Yは、甲土地を売買することについては、両者とも異論がなかったが、結局、代金の折り合いが付かなかったと主張した。

Xは、第1訴訟を、自分の住所地のA裁判所に提起し、訴訟活動を続けてきたが、訴訟も終盤にいたり、その先行きに不安を覚えるようになった。

そこで、万一第1訴訟に敗訴した場合に備え、A裁判所に係属中の上記代金支払請求の訴えを、再度、Yの住所地のB裁判所に提起することにした(以下、「第2訴訟」という)。

設問1 第1訴訟および第2訴訟が共に係属中であるとして、B裁判所は、第2訴訟をどのように取り扱ったらよいか。

設問2 第2訴訟が未だ係属中であつたとして、Xが心配していたとおり、第1訴訟が先にX敗訴で確定したとすると、第2訴訟の帰趨はどうなるか。

設問3 第2訴訟が未だ係属中であつたとして、Xにとっては幸いにも、第1訴訟が先にX勝訴で確定したとすると、第2訴訟の帰趨はどうなるか。